

2021年度

群馬県立女子大学

文学部英米文化学科後期日程試験

入学試験問題

小論文

注意事項

- 1 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子を開くと、問題が左ページに印刷されています。印刷に不鮮明な点があれば、手を挙げて監督者に申し出て下さい。
- 3 解答は、解答用紙の所定の欄に記入下さい。

次の文章を読んで、あなたはどのように考えますか。あなたの考えを600字程度で書きなさい。

日本人の感覚では、「お疲れ様でした」というのは普通の挨拶言葉で、「私はあなたをねぎらっていますよ」ということを表します。しかしそのような挨拶のない文化圏の人々からすれば、わざわざ「あなたは疲れている」とか「疲れていますか？」と言われることに何か特別な意図を感じてしまうのも無理はありません。ちなみに帰国子女だった米原万里さんご自身も、当初は「お疲れ様」に込められた意図が分からず、そのように言われるたびに「いえ、アタシぜんぜん疲れてませーん」と答えていたそうです。

こういった問題は、今後もし機械翻訳の精度が劇的に向上し、文字通りの翻訳がほぼ正確にできるようになったとしても残る問題です。むしろ、きわめて精度の高い機械翻訳が誰にでも使えるようになった場合にこそ、他国の文化についての知識不足が問題になるかもしれません。なぜなら、何気なく放った一言が文字通りに翻訳された結果、相手に「悪口」と捉えられるようなことも起こりかねないからです。

言うまでもないことですが、文化や慣習の違いは、外国との間にだけあるものではありません。同じ国の中でも地方によってさまざまな違いがありますし、世代による差なども一種の「文化の違い」と見ることができます。また、より小さな規模では、個々の団体や家庭も独自の慣習や文化を持っていると言えます。

川添愛『ヒトの言葉 機械の言葉－「人口知能と話す」以前の言語学－』
(KADOKAWA 2020年)